

# バリアフリー ムovement

Vol.24

“いざ”じゃないとき知る知識！  
“いざ”というとき引き出す知識！

バリアフリーな社会を生きるため、  
必要なことを先取りしよう！

## 今回のテーマ 使いやすいように 配慮された文房具

既存の製品をより多くの人が使いやすいようにしてくれるモノ、今まで使いにくかったものを使いやすくするためのモノ等、これからどんどん増えてくるバリアフリー化された製品や商品を紹介しているこのコーナー。

今回は弱視の人にも使いやすい文房具を紹介したいと思います。  
(森川 美和)

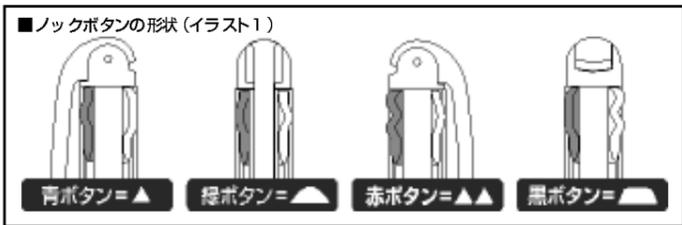
同社官公庁マーケットセンターの田熊マネシヤは、「当社はフィルム加工や接着剤などの優れた基幹技術を持ち、ポストイットやメンディングテープなどユニークなオフィス用品を

庭用品を数多く商品化してきました。これからは、なるべく使いやすい”と言っていただけの魅力ある製品を身のまわりの不自由さを解消にお役に立ちたい」と話した。

## ノックボタンにひと工夫！「リポーター」

「夜間に患者さんの見回りをする時に、ヘンの色の区別ができればいいんだけど。」  
病院によっては患者の状態や体温等を色別に記録しているところがあるが、薄暗い病室の中では色の識別が難しい。そんな声に応じて企画、販売されたのが(株)トンボ鉛筆の「リポーター」(写真2)である。ノックボタンの形状が色によって違うために、触っただけで識別ができる(イラスト1)。

う人がいる。周りの人に聞けばいいと言つてもいるかも知れないが、忙しく仕事をしている人に「この色何色ですか？」と聞くために、度々仕事の手を止めさせるのは申し訳ないと感じている人もいるのだ。しかし「リポーター」なら、弱視の人や色の区別がつきにくい人も、どの色がどの形状か覚えておけば使う時に悩まなくて済む。



■ノックボタンの形状(イラスト1)  
白ボタン=▲ 緑ボタン=▲▲ 赤ボタン=▲▲▲ 黒ボタン=▲▲▲▲

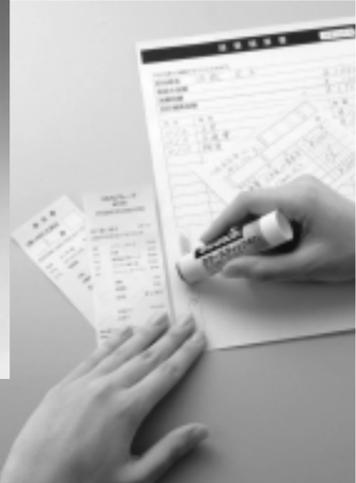
そこでヘンを収納する時や他の色をノックする時の解除音を50%低減し(トンボ鉛筆製品比)、病院内だけでなく、静かな図書館や講演会場等で使用する際でも気軽に使えるように配慮した。

■多色油性ボールペン「REPORTER(リポーター)」  
●黒・赤インクの2色(262円)  
●黒・赤・青インクの3色(315円)  
●黒・赤・青・緑インクの4色(367円)  
各種軸色はスモーク、透明、透明ブルー、透明ピンクの4色  
\*価格はすべてメーカー希望小売価格です。  
[リポーターのお問い合わせ]  
お客様相談室 0120-834195  
ホームページ: <http://www.tombow.com>

■(株)トンボ鉛筆の「リポーター」(写真2)

## 塗ったところが一目瞭然 「カラススティックのり」

口頃私たちが、封筒の封をする切手を貼る袋や、スクラップブックに新聞の切抜きを綴じる時など「のり」を用いる。のりは無色のものが多く塗ったところをなかなか「デカデカ」と光っているのり。この辺りのりがついているなと言いつつがわかる。しかし、弱視の人や色の識別ができていない人にとっては、この「なんとなくついている部分」が分かりづらい。塗ったところを確かめているうちに、すっかり乾いてしまつて、また塗りなおすという作業もあるのだ。



■「スコッチ(R) カラースティックのり」105円~315円

【商品のお問い合わせ】  
住友スリーエム(株) 電話:0120-510-333  
ホームページ: <http://www.mmm.co.jp/>